

鳥海山麓桑の木台湿原における自然観察プログラムの作成

秋田県立大学 生物資源科学部 3年 ○佐藤都子 齋藤千尋
(共同研究者 蒔田明史)

1. はじめに

秋田県由利本荘市にある桑ノ木台湿原は、鳥海山を背景にワタスゲ、レンゲツツジなどが咲き誇る見事な景観によって近年有名になった景勝地である。しかし、これまで何も整備がされていない“隠れた名所”であったため、入山者の増加に伴い、踏み込みによる湿原の荒廃が問題となった。

荒廃は人の出入りによって土壌がむき出しになることで、植生に悪影響を及ぼすだけでなく、景観を損なうなどの被害が問題視されている。そのため、保護のあり方を検討する委員会が設置され、現況調査と保護策の検討が行われた。その結果、2年間の立ち入り自粛依頼が出されて、木道を含む観察探勝ルートの整備が行われ、このことは新聞などに取り上げられて多くの人が桑ノ木台湿原の現状を知るきっかけになった。2年間立ち入り自粛依頼が出されている間、桑ノ木台湿原全体の木道や探勝ルートが一般開放にむけて整備され、2012年6月に再び一般に向けて全面開放された。

今後は、このような優れた自然から何を学ぶかという森林環境教育プログラムの充実が大きな課題となっている。そこで私たちは、マナーある散策を促すために“人と自然環境の関係性”について考察し発信する必要があると考え、森林環境教育プログラムのひとつとして桑ノ木台湿原の魅力を紹介する“幅広い年齢層に対応するパンフレット”を作成することを目的として本研究を行った。

2. 研究方法

(1) 調査地：秋田県由利本荘市矢島町木境国有林にある桑ノ木台湿原

(2) 調査内容

2011年5～6月に現地調査のための桑ノ木台に関する予備知識の収集・実施計画の策定を行い、同年7月から10月にかけて月に一度現地に赴き現地調査を行った。

一般に向けて開放される観察探勝ルートを中心に、以下の点に注目してパンフレットの内容に適した情報を探し、それぞれの位置と季節ごとの様子の変化を記録した。

- ① 季節によって装いを変える鳥海山など、林道や湿原で観察できる見ごたえのある景観
- ② 虫や両生類をはじめ、夏から秋にかけて咲く花などの桑ノ木台湿原に生息する動植物
- ③ 散策にあたって注意すべき点
(天候によっては長靴・合羽などの装備が必要になったり、クマに遭遇する可能性があるなど、来訪者に予め知らせておきたいことを考察した)

- ④ 見落としがちであるが、ぜひ来訪者にも注目してもらいたい自然の様相
(厳しい自然の影響を受けて奇妙な形になった木など、なぜそのような形になっているのか想像して楽しめるような風景を中心に挙げた)



図 1. 縦半分の枝がそぎ落とされた木

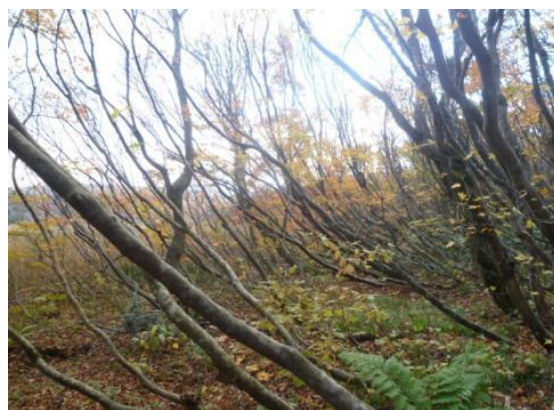


図 2. 斜めに傾いて立っている木

8月25日の調査では桑ノ木台湿原保全専門委員会の方々と現地に入り、湿原に生息する昆虫、鳥類、哺乳類、植物の解説と、パンフレット作成へのアドバイスを頂いた。桑ノ木台湿原の一番の見どころであるレンゲツツジの花は毎年咲くとは限らず、今回の調査ではレンゲツツジの花を観察することができなかった。そのため、桑ノ木台湿原を撮影している写真家の、與齋俊雄さんのご協力で湿原の風景写真を見せて頂いた。

(3) パンフレット案の作成

調査結果をもとに、2011年11月から2012年3月にかけて桑ノ木台湿原を紹介するパンフレットの骨子となる原稿を作成した。現地調査から得られた湿原で見られる風景や生物、アクセス方法、立ち入る際の注意事項に関する記録を、実際の桑ノ木台湿原の地図と照らし合わせて正確な位置を記載した。また、幅広い年齢層に対応するため、分かりやすい言葉と見やすいデザインを意識しながら少しずつ改良した。

紹介した生物の詳細な形や観察できる時期については文献で調べ、挿絵として現地で取った写真とオリジナルのイラストを使用した。完成したパンフレットはオモテ面とウラ面のあるA3のサイズにし、三つ折りにして実際に散策に持って行くことを想定している。

① オモテ面

オモテ面では、主に以下のような点に注目して桑ノ木台湿原全体の風景を紹介している。

ア. 見落とされがちなポイント

鳥海山を臨むことができる湿原までたどり着くためには、長い一本の林道を通して

いく必要がある。そこで私たちはこの林道の風景に着目し、桑ノ木台湿原では景勝地として有名な風景だけではなく、生態系を構成する様々な生物を観察して楽しむことができるということを来訪者に伝えていく必要があると考えた。そこで、林道内で見られた小さな生き物や、奇妙な形の木など普段の散策では見落とされがちなポイントを写真とともに記載し、“桑ノ木台湿原全体を成り立たせている自然”を紹介した。

イ. アクセス

由利本荘市の簡単な地図を載せて、桑ノ木台湿原の大まかな位置情報を示した。さらに林道を歩くのにかかる時間と距離を記載し、散策の目安としている。

ウ. 注意書き

湿原を歩くときに必要な装備を中心にまとめた。さらに、来訪者一人ひとりのマナー向上を促すため、立ち入り規制された経緯を記載している。

② ウラ面

ウラ面では、メインとなる湿原の風景を中心に紹介している。

ア. 季節ごとの風景

湿原に咲く花をいくつかピックアップし、それぞれが何月頃に見られるのかを記載した。花だけでなく、鳥海山も季節によって異なる様相を楽しめることを示している。

イ. クイズ

年齢に関係なく湿原に親しんでもらうことを目的として、オモテ面とウラ面に計 5 問のオリジナルのクイズを記載した。ウラ面の 4 問のクイズに関しては、自分で実際の自然を見て考えたり、調べたりしてみたいという意図を込め、あえて解答を記載していない。また、これらのクイズの解答を現地に看板などの形にして設置し、実際の散策とパンフレットの内容を対応させるようにするなど、来訪者を楽しませる工夫を提案したい。

ウ. 注意書き

特に問題になっている撮影マナーに関する注意と、実際の踏圧被害の写真を載せて、湿原に踏み込んだりしないようにオモテ面と二重にして呼びかけている。

3. 結果及び考察

来訪者一人ひとりに“人と自然の関係”についてより理解を深めてもらうために、景勝地としてのきれいな景色だけでなく、桑ノ木台湿原の自然環境を成り立たせる生き物ひとつ一つやその暮らしを紹介するパンフレットを作製した。

実際の散策とパンフレットの内容を対応させる（例：クイズの解答の看板を設置することによって、来訪者が積極的に散策に“参加”できるような楽しみ方の工夫が考えられるのではないだろうか。（ただし、看板などを設置する場合は景観が損なわれる場合があるので配慮する必要がある）

今後、パンフレットは森林環境教育プログラムの一環として有効利用していただきたい。そのために桑ノ木台湿原の市民によるガイドの会と連携し、一般向けというよ

りも、ガイドの方々に案内の参考にしていただくなどの使い方を考えている。

最後に、私たち人間は、生態系を変えるほどの強い影響力を持っていることを自覚し、散策マナーについて改めて考えなければならない。桑ノ木台湿原の綺麗な景観は自然環境を成り立たせる生き物ひとつ一つの働きで成り立っており、その暮らしの変化を意識することが重要なのではないだろうか。

このパンフレットはまだまだ改良の余地があり、実用化には至っていない。今回載せられなかった桑ノ木台湿原の姿やシャトルバスの最新情報を今後加えることで、来訪者が桑ノ木台湿原の自然環境への深い理解と関心をもつきっかけとなるような、より完成度の高いパンフレットを目指していきたいと考えている。

本研究では所長の須藤さんや伊藤さんをはじめとした由利森林管理署のみなさん、その他大勢の方にご協力いただきました。ここで、深く感謝申し上げます。

参考

パンフレット オモテ面

ようこそ
桑ノ木台湿原

◆装備

帽子

リュック
・汗拭きタオル
・-binoculars
・虫よけ
・雨具
・飲み水
・おやつ
・クマ鈴

汚れてもいい服

長靴
血のみに
臭をつけて！

注意
ゴミはすべて持ち帰ろう。
「来たときよりも美しく！」をモットーに。
足元は木の根やぬかるみで歩きづらい。
急がず注意しながら歩こう！

この生き物は何だろう？
ヒント：お腹が赤いのは…？
①ヤモリ ②イモリ ③トカゲ
答えはウラのページにあるよ！

紅葉するマツ！
針葉樹で唯一落葉するカラマツ。
秋に観察してみよう。
少し熟れると葉が落ちるよ！

★人工林と自然林
桑ノ木台湿原には2つの種類の林があります。人の手を加えられ、木が整然と並んでいる林が人工林。幹の太さや間隔がばらばらな林が自然林です。右と左の林を比べると違いが分かります。

林道(約3km)：徒歩で片道約50分の道のり

由利森林管理署
〒015-0885秋田県由利本庄市水林4-39 電話0184-22-1076

制作：秋田県立大学 生物資源科学部
菊保千夏 社保子 徳田明史

参考

パンフレット ウラ面

いのちいろいろ 桑ノ木台湿原



春・夏
秋
冬

季節の変化と共に、景色を
変える鳥海山を眺むことが
できます。



ササ群落
カキラン (6~7月)
サワギキョウの群落 (8月)
ワタスゲ (6月)
レンゲソウ (6~7月)
ギボウシ (6~7月)
アザミ (7~8月)
ミスゴケ

カキラン (6~7月)
サワギキョウの群落 (8月)
ワタスゲ (6月)
レンゲソウ (6~7月)
ギボウシ (6~7月)
アザミ (7~8月)
ミスゴケ

Q2 これは何の花?
(もし見つけたら大発見!?)

Q3 縦半分の枝がなくなったスギの木
があります。なぜこうなったので
しょうか?

Q1 葉っぱの形をみて 名前を当てよう!

ヒント: ブナ オオカメノキ
ナナカマド ホオノキ
レンゲソウ

Q1~4 の答えは、桑ノ木台湿原 現地にて!

桑ノ木台湿原では、約250種の植物をはじめ昆虫や鳥類、
両生類など、たくさんの生き物が確認されています。
あなたは何種類 見つけられるかな?

おねがい
踏圧によって損傷した湿原は、復元が
不可能になるおそれがあります。
木道コース外の散歩、写真撮影等は
ご遠慮下さい。
※三脚も湿原内に立てないでください。

探勝ルート 詳細

- 湿原が見えるルート
- 林の中を歩くルート
- 観察デッキ
- 植物名 (花の見ごろの目安)

鳥海山が
見える方角

周回路入口

オモテのクイズの答え: ②

イモリの特長

- ・おなか赤い
- ・前足の指が4本
- ・後ろ足の指が5本
- ・両生類のなかま

Q4 これは何でしょうか?
ヒント: ○○アオ○エ○の卵。
6~7月頃に見られる。

踏みつけられて、土が自由に出
なくなってしまった様子